

【海外事情 9月5日号】

- ヴァージン宇宙船に運航許可
- ウーバー、中国事業売却
- スカイスキャナーの旅行検索ロボット
- アイスランド航空チャット予約
- ブッキング、1日百万予約達成

以上、トラベル・ジャーナル 9月5日号参照

➤ 法人旅行が変化

以下は、デンバーで先月開催された世界法人旅行協会（GBTA）会議に関するホテルの料金検索エンジン TripBAM の CEO のレポートである。

・エアビーアンドビーが法人旅行流通参入に努力している。大手法人管理旅行会社（TMC）と契約しているが、流通よりも法人旅行市場に適合するプロダクト作りをもっと優先させるべきだ。エアビーは数千の企業が自社のポータルに登録していると言っているが、実際に利用されているわけではない。

・ブッキング・コムが法人旅行市場に興味を示しているが、具体的参入計画を持っているわけではない。良いレートと魅力的なコミッションが GDS 経由で販売する手っ取り早い方法だ。

・ウーバーやリフトなどのカーシェアリング・サービスが法人旅行市場で競争をしている。法人旅行管理に使うことができるメトリックスを欲しがっている企業に対して、カーシェアリング各社はデータ収集に焦点を当てている。企業のトラベルマネジャーが遂に出張者たちの使い勝手の良い評判に負けて、この新サービスの利用を許可している。タクシーは負けたのだ。戦いはすでに終わっている。

・モバイルについて依然として多くが語られている。業界はやっとモバイルとの調和や出張規定と UX とのバランスを模索し始めたようだ。5年遅れている。この業界はいつもキャッチアップモードだ。

・オープンブッキングについて、業界は目をそらしているように見える。ホテル予約はダイレクトに、レンタカーはリフトやウーバーに、航空だってリフトハンザの DCC に見られるようにダイレクトにシフトしつつある。2020年は異な

った世界となるだろう。100%GDS 経由の法人予約ツールは、小さな市場のコンテンツに特定したものとなるだろう。法人旅行管理会社（TMC）のデスクトップには GDS 以外のコンテンツが必要だ。

・トラベルマネジャーは、法人管理プログラムのより良い成果を求めて新たなアプリケーションの使用や出張規定の大幅変更を検討している。スタートアップの出番だ。（TN 8/9 <https://goo.gl/Dt9RZ5>）

➤ ルートハッピーの航空レビュー

ルートハッピーが、航空便検索アプリに“スコアーズ&アメニティー”（S&A）API を導入すると発表した。この S&A API は、150 クエリまでの 1 クエリに対して 1 セント（月間最低料金 100 ドル）がかかる従量課金制を採用している。この S&A API を使用すれば、特定便や機内客室のアメニティー、座席・レイアウト・Wi-Fi・エンターテイメント・電源・生鮮食品などに関するレーティング（評価）を抽出することが可能になる。現在、世界の航空会社の 85%に匹敵する 260 社以上の航空会社の情報を保有し、24 ヶ国語の言語による利用を可能にしている。流通サイドの顧客にはエキスペディア、グーグル、カヤック、スカイスキナー、セーバーが、航空会社サイトではキャセーパシフィック、デルタ、エミレーツ、エティハド、アイスランドエアー、ルフトハンザ、カンタス、ユナイテッド、バージンアメリカが存在する。

航空便のレビュー（口コミ）に関するメトリックスを提供するのはルートハッピーだけではない。トリップアドバイザーは、航空便レビュー・プラットフォームを拡張、既にこのプラットフォームには、エアニュージーランド、ANA、セブパシフィック、HK エクスプレス、エアカナダ、エアリングス、アエロメヒコ、スイス、トランサビア、バージンオーストラリアが参加している。そして新たに“フライトスコア”（β版）を開発、旅程と機内客室体験、サイトに掲載されているアメニティーリストのファクターから算出するレーティング・システムを導入している。

デロイトのデモクラシー調査によれば、パーソナルなりコメンテーションが、ソーシャルメディア・サークルの 61%を含めて消費者の購入意思決定の 81%を構成する。航空機の座席ピッチや機内エンターテイメントのメニューの違いが、航空便選択に影響を与えないとは言い切れない。（TN 8/11

<https://goo.gl/CMR1PB>)

▶ トラストユー上昇

ホテル宿泊客のレビューを集めているトラストユー（独）が、今年の冬よりグーグルサーチとグーグルマップにおけるホテル評価を一手に請け負っている。トラストユー・スターズを今年立ち上げてたお陰で、今では、グーグルの新しいホテル評価の75%がトラストユー経由だ。この新機能は、ホテルのレビューの集積を支援し、そして集積したレビューをグーグル、カヤック、スカイスキャナー、ウイゴの選択されたサイトへを送り込む。同社のソフトウェアは、エキスペディアやプライスライン・グループのレビューも分析する。トラストユーは、オンラインレビュー大手のトリップアドバイザーや、ライバルのレプテーション・マネジメント（評価管理）の Revinate や ReviewPro、宿泊客調査会社の Medallia の存在があるものの、将来の成長に自信をのぞかせている。つい最近では、ホテルに対するリアルタイム・メッセージングの専門企業 Checkmate を買収し将来の備えも怠りない。(注)トラストユーはレビューのメタサーチとも言える。(TN 8/17 <https://goo.gl/uV9hyT>)

▶ ジェットBとE1 A1、起業家支援

ジェットブルーと E1 A1 のベンチャー投資部門が提携して、航空と旅行ビジネスに関わる起業家（スタートアップ）の育成に乗り出すこととなった。両航空会社は、航空テクノロジーに関するアクセラレーター^(注)である“ナビゲーター”を設立、これに参加を希望する起業家を募集して、10月末から実際の組織の活動をスタートさせる計画だ。(注)アクセラレーターとは、スタートアップを支援する組織。インキュベーターがイノベーション開発を主として支援するのに対し、アクセラレーターは既にある企業の成長を「加速する」(アクセラレート)ことに焦点を当てている。

ナビゲーターに選別されると、最初の3ヶ月間はE1 A1のベンチャーキャピタル部門であるコックピット・イノベーション・ハブで活動し、その後1ヶ月間はジェットブルー・テクノロジー・ベンチャーで投資家探しの支援を受けることになる。ナビゲーターは、開発された成果物への部分的参加を条件に5万ドルの初期ファイナンスの他、顧客獲得に弾みをつけたスタートアップには8か

フォーカスライト Japan

月の間、様々な支援が提供される。ナビゲーターに参加するスタートアップの潜在顧客には、航空会社、空港、航空宇宙メーカーが含まれる。(TN 8/17 <https://goo.gl/SyW93w>)

+++++ +++++ +++++